

海外ボランティアが産業労働部長に出発の表敬をしました！

令和3年10月8日（金） 独立行政法人国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊として派遣される岩堀 睦宗（いわほり ともかず）さんが、吉川産業労働部長を表敬訪問しました。

今回は出発前の隊員のコロナ感染予防も考慮し、オンラインでの表敬となりました。

岩堀さんは令和3年11月8日から2年間の予定でアフリカのマダガスカル共和国に柔道を指導するために派遣されます。

現地では柔道の精神や礼節の指導や、青少年への技の指導、指導者への指導方法の助言等を行いマダガスカルの柔道の発展に取り組む予定です。

4歳から柔道を始め、小学校、中学校・高校・大学の22年間の柔道歴があり、また学生時代に海外で柔道を教えた経験があることからその経験を活かしたいと今回JICAの青年海外協力隊に応募されました。



柔道を指導する他に現地で楽しみにしていることはマダガスカル共和国の人々の暮らしぶり、また食事や気候についても興味があるとのことでした。

また、マダガスカル共和国の公用語はフランス語で指導などはフランス語で行う予定だそうです。実際行かれた後は現地の人々が話しているマダガスカル語も習得したいとのことでした。

さらに、今年の東京オリンピックではマダガスカル共和国から柔道女子が1名出場しましたが、次のオリンピックでは岩堀さんが指導した選手が出場できることを期待しているとのことでした。

最後に吉川部長からは「この時期に海外で柔道を指導するためにボランティアに参加するにはとても強い意志がないとできないことだと思います。お体にはくれぐれも気を付けて安全に考慮しながら、現地の柔道の技術の向上のための活動を行ってください。また帰国された際にはぜひ元気な顔を見せてください。」と激励の言葉を贈りました。

【オンラインのため
画面上での記念撮影】
左: 吉川産業労働部長
右上: 岩堀隊員
右下: JICA 北陸 米山所長

